ブロック名：北広島

掲示物・保健室便利グッズ資料

掲示物①「コロナウイルスの模型を作る」　<u>大曲中学校　野澤志のぶ先生</u>

100 均で買えるものを使ってコロナウイルスの模型を作ってみました。

材料は以下のものと発泡スチロールの丸い玉（百均にあります）です。

・作り方は発泡スチロールの丸い玉にピンをバランスよく刺していくだけです。

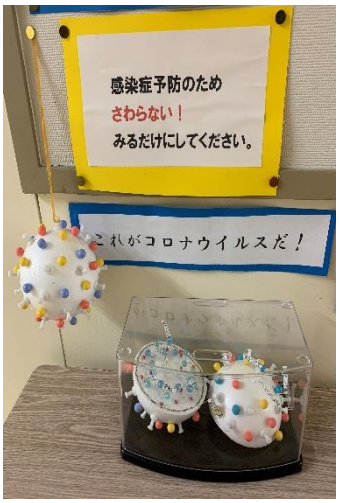
・針は抜けやすいので、木工用ボンドをつけて固定しました。

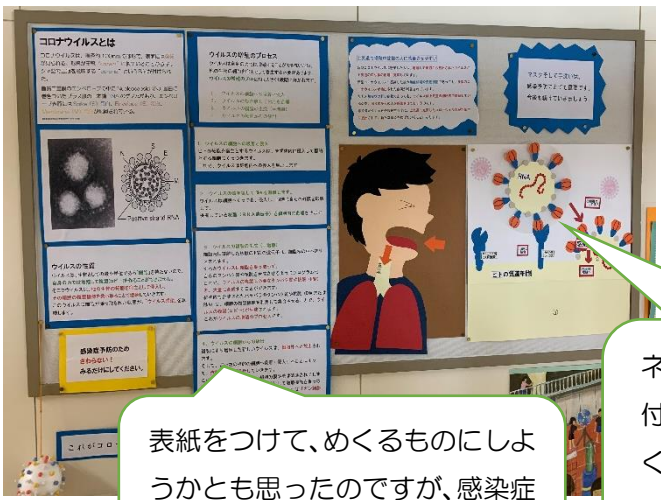
・半球体は、丸いものを半分に切りました。切るときは、刃物（私は 100 均の包丁を使いました）を<u>ガスコンロの火で熱して暖めてから切る</u>ときれいに切れます。（これがコツです）

・針金はペン軸に巻き、ぐるぐるの状態にしてビーズはグルーガンで固定しました。

ウイルスはラミネートし、丸く切る

球体はぶら下げ、半球体の方は、１００均で売っている展示ケースに入れて掲示しました。





表紙をつけて、めくるものにしようかとも思ったのですが、感染症予防のためやめました。

ネオジム磁石を後ろから貼り付け、ウイルスが移動でき、くるくる回り鍵穴に合わせることができます。

掲示物②「色がもたらす心理作用」　広葉中学校　佐々木小織先生

普段は「健」に載っているものを掲示していましたが、図書室に色彩心理学の本があり、面白かったので掲示物にしてみました。普段あまり掲示物に興味を示していない子も、友達同士で盛り上がりながら見ていました。この色が気になるときはこんな気分、といったことが書いてあるので、一度見て終わりではなく、その時々で気になった色について見ているようです。

大した保健指導にはなっていませんが、お楽しみ掲示物としてはアリかな、と思っています。このご時世なので、めくる方式ではなく、裏面の読み物だけ模造紙に張り付けてポスター形式にした方が良かったかも…というところが反省点です。印刷・ラミネートすればすぐ使えるデータがあるので、もしご興味ありましたら送ります。

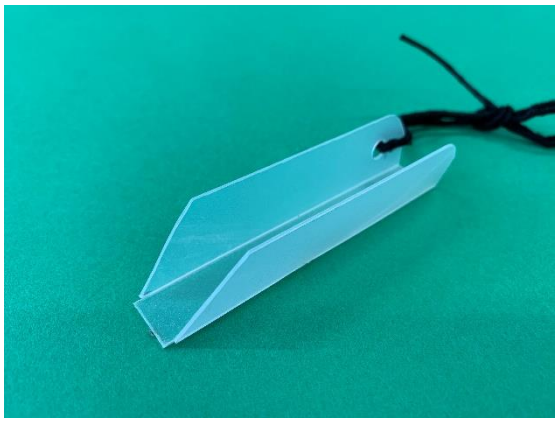
【参考資料】色のパワーで心も体も元気になる！　人生が豊かになる色彩心理　監修：宮田久美子　（ナツメ社）

掲示物③「私たちの体から出るあせやあかについて知ろう」　西の里小中学校陽香分校　室田憲子先生

汗のしまつや、入浴のときに参考にしてもらおうと思い少年写真新聞社の資料を参考に掲示物を作成しました。この掲示物の効果があったかは、分かりませんが汗拭きタオルを持参し、汗をかいた運動後にトイレや教室で汗のしまつをする生徒を多く見かけました。体の洗い方について話をした時には、汗の種類もあるんだよと話すと「知っている。掲示物に書いてあったよ」と話しをしてくれました。

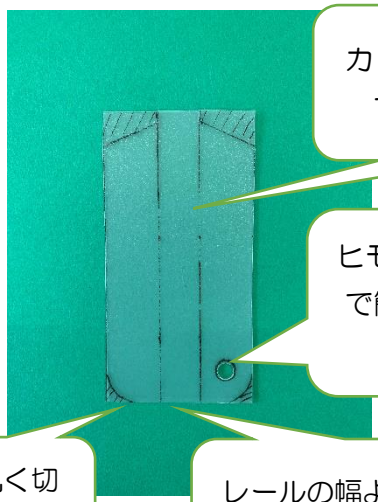
便利グッズ①「レール用ちりとり」　<u>大曲中学校　野澤志のぶ先生</u>

教室の引き戸の下部にあるレールって掃除が大変ではありませんか？
ほうきで掃いても、端に三角にゴミが残ったままとれない、わざわざ掃除機を持ってきてとるのは大変と感じていませんか？
放っておくと戸車が壊れてしまうことも、、、。
そこで、、、こんなものを作ってみました。



このように
使います

材料は PP シート（１００均で買いました）、はさみ、カッター、穴開けパンチ、ヒモです。



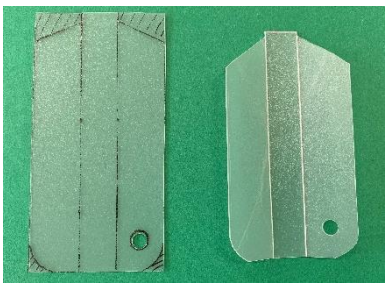
カッターで２，３回なぞってから折り曲げます。

ヒモ通し穴。穴開けパンチで簡単に穴を開けることができます

角を丸く切ります。

レールの幅より１、２ミリ程度短い幅にします。

PP シートは１ミリのものを使いました。
はさみで簡単に切ることができます。（外側はカッターが滑るのではさみで切ったほうがいいです。）
折り曲げるときは、カッターで２，３回なぞって傷をつけてからやさしく折り曲げてください。（切りすぎてもだめ、切らなすぎても折るときに割れちゃいます）
レールの幅に合わせて真ん中の幅を変えるとぴったりのものが作れます。
１枚で 20 個ぐらい作れますので、増産できます。
おもしろいほどにゴミがとれますので是非作ってみてください。



便利グッズ②「使い捨て遮眼子」　<u>大曲小学校　青田かおり先生</u>

材　料：　黒の画用紙（４つ切り）　　＊画用紙１枚で３２枚の遮眼子ができます。

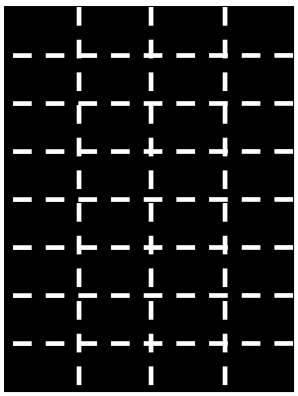
作り方：　① 画用紙を裁断機などで３２分割に切り分ける

② ３２分割した画用紙に、図のような切込みを２本入れる

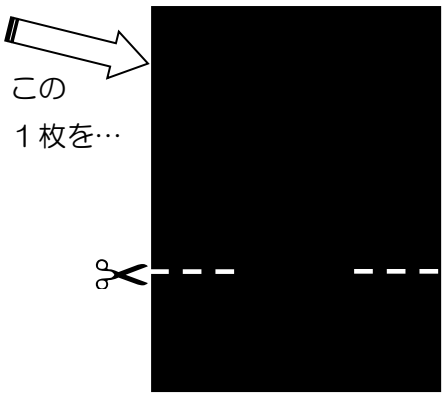
③ 切込みの部分の両方を、中側に折る

④ ー完成ー

①

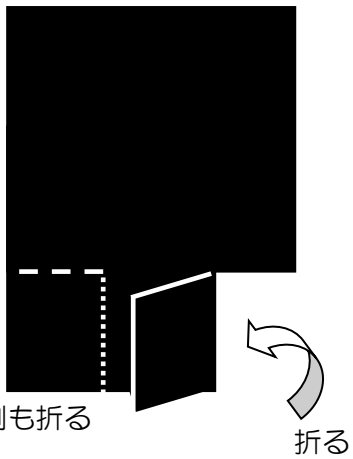


②

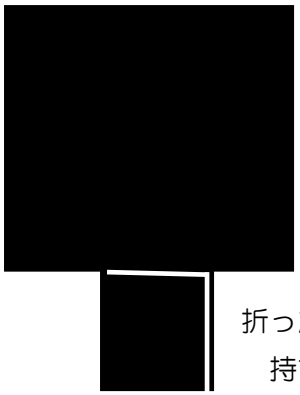


３～４枚くらいなら
重ねて切れます

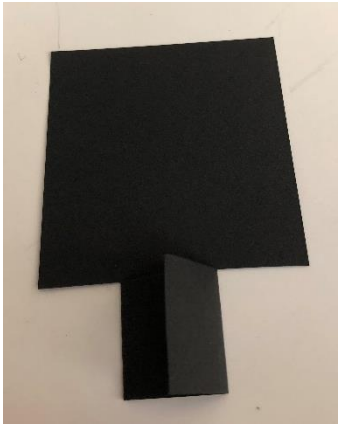
③



④



折った部分が
持ち手になります



こんな感じです。
色が黒いから、わかりづらいかな?

１００均で買ったプラスチックのケースに入れておいておき、

- １枚だけ取り出す
- 検査の時に、目を隠す
- 両目の検査が終わったら、ごみ袋に捨てる

など説明し、検査を進めました。

持ち手をつけると、持ちやすいというよりは、ケースから１枚だけを取り出しやすいかなと思います。

ただ、ちょっと手間はかかるので、高学年くらいだと、黒画用紙を四角に切っただけのものでも十分使えると思います。

ちなみに製作時間ですが、３２分割に切った後は、息子２人の力も借りて（作業に飽きた後は妨害に変わりましたが…）、１時間半くらいで５００枚くらいできました。